

令和4年度第2回 独立行政法人労働者健康安全機構契約監視委員会〔概要〕

開催日時	令和4年9月22日 10:05~12:00
委員	山本 勲 (慶應義塾大学商学部教授) 田極 春美 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 竹内 啓博 (公認会計士) 遠藤 和夫 (独立行政法人労働者健康安全機構監事)
審議事項	1. 令和4年4月から令和4年6月までに締結した契約の点検・見直しについて
議事概要	<p>1. 契約の点検・見直しについて</p> <p>令和4年4月から令和4年6月までに締結した契約(1,450件)について、競争性の確保、コスト削減等の観点から点検すべき案件として選定した契約案件(5件)について審議。</p> <p>【主な指摘事項】</p> <p>○随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高濃度PCB含有物の再調査業務」について、①PCB含有物の発見は予期せぬ事態であったこと及び②他の業者と新たな契約を締結するよりも前回調査を行った業者と契約を締結する方が効率的であり、経済的に有利であることから、今回の調達は止むを得ないものと思料される。 ・「災害用簡易ベッド40台」について、本件に関し、医療現場の不安は理解するものの、一般競争入札の実施を考えるべきであったと思われる。なお、緊急随契を選択する場合には、より慎重な判断が求められる。 <p>○一者応札・応募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護助手業務(労働者派遣)」について、派遣する人員の規模等も踏まえつつ、①公告期間を可能な限り確保しつつ、②複数業者への声掛けを積極的に行うことで、より多くの業者が入札に参加できる環境づくりに努めることが求められる。 ・「体育館空調設備更新工事」について、工事内容及び規模等を勘案すると、十分な公告期間及び履行期間が確保されていない今回の契約は、公正な競争環境にないと疑われても仕方がない。①公告期間及び履行期間を可能な限り確保しつつ、②複数業者への声掛けを積極的に行うことで、より多くの業者が入札に参加できる環境づくりに努めることが求められる。 ・「未払賃金立替払システムの構築について制度設計に係るコンサルティング支援委託一式」について、企画競争の趣旨を踏まえれば、改善の余地があると思料される。複数業者への声掛けを積極的に行うなど、より多くの業者から提案を受けることができる環境づくりに努めることが求められる。